

セメント放射能濃度測定結果について
(平成30年2月11日～平成30年2月20日)

標記の件につきまして、栃木工場ならびにグループ会社の八戸セメントにて生産しましたセメントの放射能濃度測定結果を以下の通りご報告いたします。

測定結果は、いずれも平成23年5月12日ならびに平成23年6月16日に国土交通省が公表した原子力災害対策本部からの考え方の内容に則していることを確認しております。

引き続き安心して弊社製品をご使用いただきますようお願い申し上げます。

なお、八戸セメントにおいては、平成24年3月に、岩手県、宮城県ならびに八戸市との間で広域災害廃棄物の受入れ処理に関する協定を締結し、セメント資源化を実施してまいりましたが、平成26年3月末をもって終了しております。

→ [詳細は八戸市のホームページをご参照ください](#)

また、岐阜工場(岐阜県本巣市)、赤穂工場(兵庫県赤穂市)、高知工場(高知県須崎市)にて生産・出荷しておりますセメントにつきましては、平成24年1月31日に測定結果をご報告して以降も(※)放射能濃度測定を継続しており、その結果、直近平成30年1月まで放射能濃度は不検出となっておりますので、併せてご報告いたします。

◇セメント放射能濃度

①栃木工場

(Bq/kg)

		Cs-134	Cs-137	I-131	合計
普通セメント	2月中旬生産品	不検出	不検出	不検出	不検出
高炉セメント	2月中旬生産品	不検出	不検出	不検出	不検出

測定機関：(株)中研コンサルタント

※早強セメントは生産なし

②八戸セメント(株)

(Bq/kg)

		Cs-134	Cs-137	I-131	合計
普通セメント	2月中旬生産品	—	—	—	—
早強セメント	2月中旬生産品	—	—	—	—
高炉セメント	2月中旬生産品	—	—	—	—

測定機関：(株)中研コンサルタント

上旬：1日～10日、中旬：11日～20日、下旬：21日～31日

採取した複数の検体は、上旬、中旬、下旬で、それぞれ合併し、合併した検体の測定値を記載しております。

不検出：放射能濃度が検出下限値(10ベクレル/kg)未満

※平成24年1月31日開示 セメント製品の放射能濃度測定結果について

<http://www.soc.co.jp/wp-content/themes/soc/img/tochigi/sokutei5.pdf>

以上